



<ひとこと> インフルエンザの早い流行！ 手洗い、うがいをお忘れなく！！

速報

あいネット？あいネット！

中核センター事業は、一年毎の公募で、平成二十年度の公募は終了しました。

今年変わったのが圏域数。柏市が中核市に移行すること、いわゆる保健所圏域が十四から十三圏域に変わります。それに伴い中核の公募数も十三箇所になりました。

柏圏域は三市（柏市・流山市・我孫子市）でしたので、平成二十年度は我孫子市・流山市は松戸圏域に移管します。と書くのは簡単ですが、我孫子市・流山市民にとっては保健所機能が松戸に移管することは大きな変化です。

「あいネットは？」

中核センター事業には幕を下ろすことになりました。あいネットとしてはどうも残念です。

圏域で培ったネットワークは松戸の中核センターとの連携で、これからもできるかぎり継続したいと考えています。

「あいネットは？」

来年に入ってから松戸圏域の中核センターと協力しながら、我孫子市・流山市の相談者ができるだけ困らないように引き続きをやる予定です。といっても今度からあっちですなんて言われる理不尽さは拭いようもなく大変申し訳ないと思います。

柏市民へは？柏市民の相談については引き続き福祉総合相談という機能を保てるように検討しています。

そういう訳で？少し早いです。今年はありません。うございました。そして、来年もよろしく！

<平成19年度相談件数「4. 対象別」より抜粋>

	※~H19.3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
高齢者	798	41	36	15	22	60	39	1011
障害者	8272	485	503	389	520	438	492	11099
児童	1089	29	61	83	74	7	40	1383
その他	1072	38	48	38	31	51	37	1315
合計	11231	593	648	525	647	556	608	14808

※中核センター事業開始(H16.10)~昨年度末の合計

《3市の消費生活センター》

名称	連絡先
柏市消費生活センター	04-7164-4100
流山市消費生活センター	04-7158-0999
我孫子市消費生活センター	04-7185-0999

※ 受付時間はいずれも平日(月~金)。時間帯は、
 柏市消費生活センター 9:00~16:30
 流山市消費生活センター 9:00~12:00 13:00~16:00
 我孫子市消費生活センター 9:00~12:00 13:00~17:00

十一月十八日(日) 柏市消費生活センターの櫛部さんを講師に呼び、障害当事者、支援者対象に「有料サイトとキャッシュレス被害について」お話しいただきました。

講師とあいネット職員によるロールプレイングを見てもらい、実際にどのように消費者被害に遭うのか、被害に遭ってしまったときの対応方法を学びました。

勉強になったことは、よくデパートで服を買い、交換や返品をしてくれていますが、それはお店側のサービスであって、本来はできないとのこと、理由はお店の購入は、自分自身で見て自己選択したからです。電話での販売や町で声をかけられて等買う気がなく購入した場合は、クーリングオフできるとのことです。

ちょっと気にして!! 公開勉強会

「消費者問題 出前講座」(社)全国消費生活相談員協会

参加者は身近な問題なので、講師の話のひとつひとつに大きくうなずいていました。ほとんどの人がキャッシュレス等で声をかけられたことがあり、皆さんは怪しいと思った話をせず無視しているとのことでした。

キャッシュレス等で困った、どうしてよいかわからない時は、消費生活センターに先ず話を聞いてもらったらいいのだと思いました。一人で抱え込んでしまふことが一番危険なのだなと感じました。



講師: 櫛部さん(柏市消費生活センター)



- 【当日の配布資料】
- ① 週末電話相談事例集
 - ② クーリングオフの書き方
 - ③ 消費者被害各種プリント

地域における福祉の基盤を築いてきた最高師範からの指南を受ける場でもあり、またこれからの地域を担う福祉職人達が自らの実践や福祉観を語る場でもあります。(中略)

ただ聞いて知るだけでなく、泥臭くても汗をかいてもお互いに自らの言葉で語り合うことで、経験や知識が血となり肉となっていくます。ご興味を持たれた方のご参加をお待ちしております。

「福祉道場」: ホームページアドレス
<http://members3.jcom.home.ne.jp/fukushi-dojo/index.html>

「福祉道場」って？と思われると思います。(左図福祉道場ホームページより抜粋)

柏・流山・我孫子・野田の若手社会福祉士(目指す人も含めて)有志が中心となり、ありきたりの勉強会ではなく、自らの経験の場として立ち上げたのが「福祉道場」です。

先日、ホームページが立ち上がりました。興味のある方は是非、ご覧下さい。



**社会福祉法人高柳福祉会
わかたけ社会センター**

柏市高柳668-1
TEL:04-7192-0324
FAX:04-7192-1665

メール: wakatake@af.wakwak.com

HP: <http://park20.wakwak.com/~wakatake/index.html>

■ わかたけ社会センターって?

「障害を持つ人たちに食品加工、養鶏・農耕、織物など、様々な技術を得る場所を提供することにより、彼らの就労を支援する施設です。千葉県産の農産物を材料に、ジャムや味噌を生産しています。(右下写真)

平成7年の開設。今年で12年になります。県内の法人の通所授産施設としては2番目です。利用される方が年々少なくなり経営は苦しくなってきたのが現状です。昨年1名、今年2名が一般の企業に就労されました。これからも「普通の暮らし」を基本にやっていきます。」

とおっしゃっていた外山施設長に暖かいものを感じました。…(東武野田線)高柳駅から歩いて20分ぐらい。駅からマイクロバスも運行しています。

■ 分場「たけのこ」では?

糸から選んで丁寧に織った「織物」が自慢です。店の隣には喫茶がありお勧めメニューはソフトクリーム(北海道から原材料を取り寄せています。)とパスタです。是非一度お試しください。「どちらも定員の空きはまだあります。お気軽にお問い合わせください」とのこと。

■ 新規オープン予定のグループホームについて、
思い切って、外山さんにきいてみました。

Q: まずはホームの名前は?

A: 「未定です。」

Q: オープンはいつ?

A: 「平成20年の4月か5月を予定しています。」

Q: 定員は?

A: 「10名、男女混合を考えています。」

Q: 場所は?

A: 「分場「たけのこ」のすぐとなり東武野田線高柳駅より、歩いて100歩!」

* 共同生活ができる人はだれでも大歓迎です。費用は「(障害)年金の範囲内」と考えています。

Q: 問い合わせは?

A: わかたけ社会センターまで



eye ネット

朝刊を読むのは帰宅してからの私。「仲畑流万能川柳」というコーナーを読むことがひそかな楽しみになっています。

秀逸: 女房に ダメねと言われ ダメになる (大分 赤猫) (平成19年12月4日火曜日 毎日新聞より)



おしらせ

こちらのコーナーへ掲載希望は、あいネットまでご連絡ください。

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
◆塀の中の『障がい者』 山本譲司氏をお迎えして(元衆議院議員、著書『獄窓記』(ポプラ社)『累犯障害者』)	12月15日(土) 13:30~16:00	柏市中央公民館 5階講堂 定員150名	無料	×申込み不要 (当日先着順)	社会福祉法人高柳福祉会 わかたけ社会センター でんわ:04(7192)0324 wakatake@af.wakwak.com 主催 同上
◆内藤いづみ先生 講演会 (日本ホスピス・在宅ケア研究会理事、前山梨教育委員長) 「いのちのしずく達」 ~在宅ホスピス医からのメッセージ~	12月15日(土) 15:00~	アミュゼ柏プラザ	500円	×申込み不要	NPO法人ホスピスケアを広める会 でんわ:04(7163)0634 HP: http://www.1.odn.ne.jp/hoscare 主催 同上
◆地域でともに生きる! ミニタウンミーティング	12月28日(金) 10:00~12:30	今谷上町ふるさとセンター 1階会議室	無料	×申込み不要	NPO自立生活センターK2 でんわ:04(7139)5613 主催 同上
◆東葛菜の花 高次脳機能障害者と家族の会<1月例会・勉強会> ~高次脳機能障害~ 言語障害について 講師:言語聴覚士 四方田博英先生 (東京医薬専門学校言語聴覚士科 専任教員、国立精神・神経センター国府台病院リハビリテーション科 言語療法室)	平成20年 1月27日(日) 13:30~15:30	たんぼぼセンター 柏市柏下135-1 (慈恵医大柏病院そば)	無料	×申込み不要	世話人 綿貫吉治 でんわ・FAX:04(7174)3998 メール: yh-watanuki@jcom.home.ne.jp HP: http://members3.jcom.home.ne.jp/toukatsu-nanohana 中核地域生活支援センターあいネット でんわ:04(7165)8707 FAX:04(7165)8709 bch13362@nifty.com